④共同追究前半（解法の比較検討）

「どの求め方にも共通していることは何だろう？」

→「どれも2Ｌを2つに分けて，3等分したものをたしている。」

③個人追究：面積図を使って2÷3の計算方法を考え説明する。

②見通し：2÷3の商は割り切れず，小数で表すことができない。

→分数を使って2Ｌを3等分した量を表せばよい。

②学習課題：面積図を使って，2Ｌを1Ｌ 2つ分と考えて，3等分した1つ分の量を求めよう。

①本時を構想する上でポイントとなる素地

○問題解決のための知識・技能

・等分はわり算で表せることを理解している。

・1/3＋1/3＝2/3になることを学習している。

○既習とつなぐ見方・考え方

・3年「分数」で，1ｍのテープを3等分した1つ分は1/3ｍであることを学習している。

教材研究ノート№5-A-8

④共同追究後半（思考を深める）

「3等分したのだから2/3ではなく1/3ではないのか？」

→「1/3は1Ｌを3等分したもの。2Ｌではない。」

「2Ｌ＝1Ｌ＋1Ｌだから，1Ｌを3等分した1/3をたして1/3＋1/3で2/3Ｌになる。」

⑤まとめ（児童生徒の言葉で）

・1Ｌの1/3が2つ集まった量は，2Ｌを3等分した量と等しい。

・わり算の商は，分数で表すことができる。

3L

⑥定着･活用問題

ひろし君は，面積図を使って

3÷4＝3/4と考えました。

ひろし君の考えを，面積図を

使って説明しましょう。

≪学習問題≫

ジュース2Ｌを，同じように

3つに分けると，1つ分は

何Ｌになりますか。

2Ｌ

≪定着・活用問題≫

授業計画･実施記録

主眼

≪学習問題≫

＜本時の展開に当たっての留意点＞

・図から2Ｌを「もとになる量」と捉えて，1/3Ｌと考える場面がある。2Ｌが「1」と見える図と，1Ｌずつに分けて説明している図から子どもの思考を把握したい。

・共同追究では，1/3Ｌと考える子どもがいない場合でも，あえて「思考を深める」の発問をし，分数の意味理解を深める場面として位置付けたい。